

あきる野市

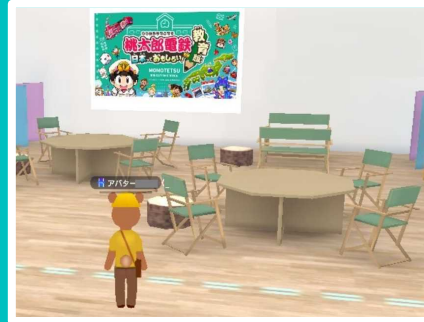
令和6年度

バーチャル・ラーニング・プラットフォーム
実施状況

V L P

あきる野VLPルーム

教室
スペース



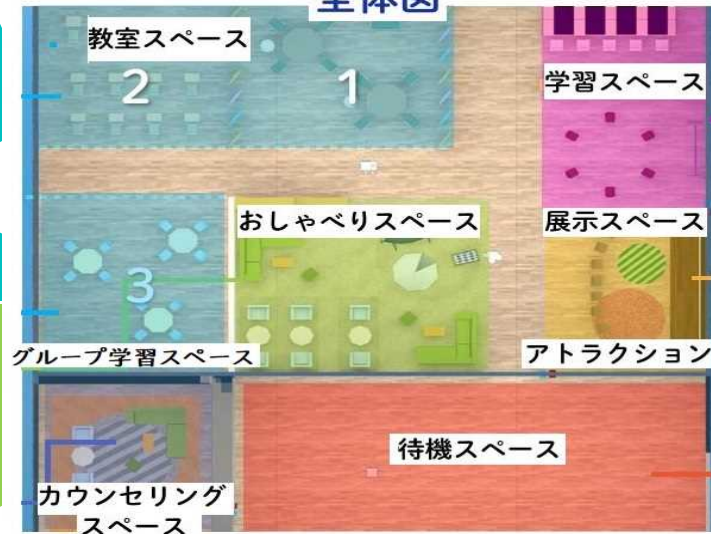
学習
スペース



グループ学習
スペース



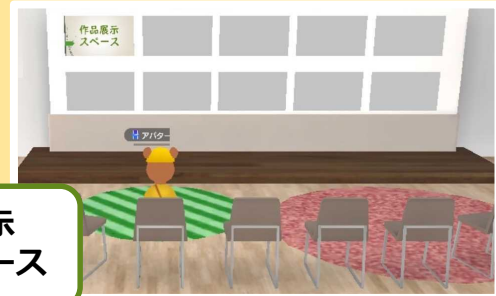
全体図



多目的
スペース



展示
スペース



おしゃべり
スペース



個別相談
ルーム



オンライン
支援員

待機
スペース



活用方針・導入/活用までのステップ



VLP取組概要

■ VLP活用のねらい

- オンライン上の仮想空間を利用した、新たな居場所や学びの場を提供し、不登校支援の充実を図る。

■ 対象

- 不登校状態にある市内小・中学校の児童・生徒。

■ 運用時間

- 月曜から金曜 午前8時～午後6時

■ 参加の方法

- 在籍校に「VLP利用開始届」を提出して、「VLP個人ID・パスワード」を受け取り、自宅等から参加する。



VLPの導入/活用までのステップ

- ① 4月：各種環境設定、各IDを使った動作・操作手順確認
- ② 5月～7月：教育支援室通室児童・生徒によるVLP体験、都VLPイベント参加
- ③ 9月：市内全小中学校にVLP活用方法周知、保護者用申込書類配布、運用開始
- ④ 11月：週1回、教育支援室通室児童・生徒によるVLPイベントを開催

活動・取組の内容

【導入前】

- VLP内パネルに、無料映像授業やAIお絵かきなど、ルーム内の活動が少しでも広げられるようなリンクを設置。

【導入初期】

- 5月～7月：教育支援室通室児童・生徒によるVLP内でのアバター体験、WEB学習システム、プログラミング教材等を使った学習。
- デジタル教材、コミュニケーション外部リンクをVLP内に設置して体験。
- 教育支援室通室児童・生徒の東京都VLP英語落語イベント参加。

【運用期】

- 9月：市内小・中学校へのID配布
校長会、副校長会での周知説明、学校担当者によるVLP操作説明会の実施。
教育支援室への通室が途切れたり、SSWが家庭訪問でつながったりしている児童・生徒による、自宅からのVLP体験。
- 11月：オンラインクイズの外部リンクを設置
教育支援室通室児童・生徒が参加する「クイズイベント」の定期開催。



成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

成果/好影響

- WEB学習システムは、アニメミニ授業等の動画を観ることで、自ら学習が進めることができ、児童・生徒が主体的に取り組むことができた。
- プログラミング教材は、簡単な問題から徐々に複雑な課題が並んでおり、児童・生徒は、興味をもって取り組んでいた。
- 11月から始めた「クイズイベント」には、通室経験のない児童・生徒が、自宅から参加することができた。教育支援室指導員が、様々なジャンルのオリジナルクイズを作成し、実施した。参加者は順位を競いながら集中し、楽しみながら参加しており、毎回とても好評だった。

次年度以降の方針

1. 教育支援室に通室する児童・生徒に、毎朝VLPルームに入って自学自習することを習慣付け、通室できない日も自宅からスムーズにVLPを活用できるようにしていく。
2. 毎日VLP内に児童・生徒数名が過ごしている状態をつくり、そこに他の不登校児童・生徒を招き入れて、VLP内での過ごし方を体験したり、通室児童・生徒と関わりをもったりできるようにしていく。
3. VLP内では、日常的なオンラインドリルやプログラミングの自習以外に、ミニイベントやオンラインクラブを定期的に設定しながら、児童・生徒の自主性や探究心を育てていく。

利用者の声



児童・
生徒

- 他の児童・生徒がいる中で利用しなければ、参加することにためらってしまう。
- VLP内で自習している様子ではなく、みんなが遊んでいる中で体験してみたい。
- クイズイベントでは、順位が付くので真剣に参加でき、楽しみながら学べた。
- 教育版ゲームをみんなでやってみたい。



教職員や
保護者等

- VLPが児童・生徒の居場所の一つとなるよう、仮想空間内に相談相手や指導員に常駐してほしい。
- 外部サイトとの連携を柔軟にして、ルーム内でオンラインで体験できることを充実してほしい。
- 定期的にイベントを開催するなど、児童・生徒がコミュニケーションを取る場を設定してほしい。